

平成 22 年度予算与党三党重点要望に関する政府対応(事業仕分け分)

申入れ	予算計上額	対応状況
<p>1. イノベーションを促す基礎研究やスパコンなど先端技術の開発、産学官が協力する知的クラスター事業など、地域科学振興と産学官連携事業の継続を図るため、科学技術予算を確保し、わが国の優れた技術をさらに高め、日本経済の将来の成長戦略に寄与する必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 科研費補助金 2,000 億円 (対 21 年度 : +30 億円)</li> <li>・ 戦略的創造研究推進事業 505 億円 (対 21 年度 : +7 億円)</li> <li>・ 次世代スパコン 228 億円 (対 21 年度 : +38 億円)</li> <li>・ 知的クラスター 79 億円 (対 21 年度 : +1 億円)</li> </ul>	<p>科学技術予算については、既存の歳出の見直しを行った上で、必要な予算は、適切に確保。</p> <p>基礎研究については、科研費補助金で 2,000 億円(対前年度 30 億円増)、戦略的創造研究推進事業で 505 億円(対前年度 7 億円増)を措置。</p> <p>「次世代スパコン」については、事業仕分けにおいて「来年度の予算計上の見送りに限りなく近い縮減」とされたが、科学界、産業界の懸念、事業の見直し等を踏まえ、大臣折衝等を経て 228 億円(対前年度 38 億円増)を措置。</p> <p>地域科学技術振興・産学官連携については、事業仕分けにおいて「廃止」とされたが、継続事業分の予算を措置するとともに、JST の研究成果最適的展開支援事業に小規模な産学官連携活動の支援メニューを追加。</p> <p>知的クラスター創成事業については、全て継続中であり 79 億円(対前年度 1 億円増)を措置。</p>
<p>2. 文化・スポーツ立国として、演劇、音楽、舞踊、演芸、伝統芸能など芸術・文化・スポーツによる社会の活力と創造性豊かな人材を育成する必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 芸術・文化予算 1,020 億円 (対 21 年度 : +5 億円)</li> <li>・ スポーツ予算 227 億円 (対 21 年度 : +2 億円)</li> </ul>	<p>文化・スポーツ予算については、既存の歳出の見直しを行った上で、必要な予算はしっかりと確保するとの方針の下、文化予算について 1,020 億円(対前年度 5 億円増)、スポーツ予算について 227 億円(対前年度 2 億円増)を措置。</p>

平成 22 年度予算与党三党重点要望に関する政府対応(事業仕分け分)

<p>3. 漢方薬、湿布薬の保険適用については統合医療推進の政策からも、保険適用を継続する必要がある。</p>	<p>—</p>	<p>漢方薬、湿布薬の保険適用については、行政刷新会議の事業仕分けにおいて、「市販品類似薬を保険外とする」「どの範囲を保険適用外にするかについては、今後も十分な議論が必要」とされたところであり、保険適用の範囲について今後も十分な議論を行うこととし、来年度は保険適用を継続する。</p>
---	----------	--